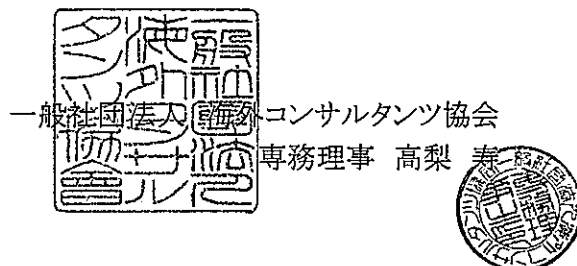




海コン協 17-07-080

平成 29 年 8 月 2 日

会員各位



2017 年度
新人コンサルタントのための開発コンサルティング基礎研修
ご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より弊会の事業に対しご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当協会では、会員企業の人材育成支援を重点事業の一つとし、「コンサルタントの人材育成・国際競争力強化」を図るため、各種研修プログラムを企画・実施しております。

この度、開発コンサルタントとして、海外での開発コンサルティング業務に携わる中途採用及び国内からの異動の方等を対象とした「開発コンサルティング基礎研修」を実施することになりました。本研修は、初めて ODA 業務に携わる開発コンサルタントとして必要最小限の海外業務の知識をつけていただくことを目的としております。詳細につきましては、別添の研修案内をご確認お願いいたします。

ご多忙中とは存じますが、別添の研修内容をご参照の上、是非、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

敬具

記

研修名：新人コンサルタントのための開発コンサルティング基礎研修（中途・異動者対象）

日 時：2017 年 9 月 8 日（金） 9：40－19：00 【1 日間】 ※含む懇親会

対 象：中途採用及び国内からの異動の方で、今後海外の開発コンサルティング業務に携わる予定・意向のある方など

担当：^こ河野
TEL：03-3593-1171
E-mail：kono@ecfa.or.jp

新人コンサルタントのための開発コンサルティング基礎研修（中途・異動者対象）
ご案内

日 時	2017年9月8日(金)9:40-19:00 【1日間】 ※含む懇親会 ※時間が多少前後することもあります。予めご了承ください。
場 所	一般社団法人 海外コンサルタンツ協会 会議室 (〒105-0003 港区西新橋 1-6-13 虎ノ門吉荒ビル 7F)
対象者	中途採用及び国内からの異動の方等で、今後海外の開発コンサルティング業務に携わる 予定・意向のある方など
定 員	45名 ※定員を越えた場合は会員企業を優先させていただきます。 ※定員に達した場合は、お申込み締切日より前に募集を締め切らせていただく場合もございます。
目 的	<ul style="list-style-type: none"> ・海外業務に参加するにあたり、海外の開発コンサルティング業務に関わる基礎的な知識・スキルについて理解する。 ・海外業務の主要となる ODA 業務について、わが国援助の仕組み、予算、業務の流れ、コンサルタントへの発注方法・実績評価、市場規模、外国コンサルタントとの国際競争の現状などについて理解を深める。 ・経験豊富な開発コンサルタントの方から現場のプロジェクト経験を聞き、海外における開発業務の具体的な実務の内容・各人の挑戦・苦労したこと・海外プロジェクトの魅力について理解する。 ・講師の方々および受講者、業界関係者との交流を図り、今後の個人のネットワークの構築・拡充につなげる。
プログラム	別添 1 をご参照下さい。 ※プログラムはやむを得ず変更となる場合がございます。予めご了承ください。
受講料	ECFA 会員企業：12,000 円、一般：30,000 円 (研修費、資料代、懇親会参加費、消費税込)
お申込み方法	<p>受講申込用紙^{注)}にご記入の上、Eメールにてお申込みください。受講の可否については、お申込み締切後、応募者全員に Eメールにてお知らせいたします。</p> <p>※お申込み用紙は当協会 Web サイト (http://www.ecfa.or.jp/japanese/hrd/index.htm) からダウンロードできます。</p> <p>お申込み用紙送付先： E-mail : kono@ecfa.or.jp (一社) 海外コンサルタンツ協会 担当 河野 (こうの) 苑</p> <p>お申込み締切： 2017年8月23日(水) 17:00 必着</p>
受講料のお支払い方法	受講決定者の方には、請求書を郵送致します。受講料は、請求書に記載されている期日までに銀行振込にてお支払い下さい。なお、一旦納入されました受講料は返金致しかねますのでご了承ください。また、受講決定後、事務局への連絡なしに欠席された場合も、受講料を請求させていただきますので、ご注意ください。
修了証	全日程出席された方には、ECFA より修了証を授与します。
お問合せ先	(一社) 海外コンサルタンツ協会 担当 河野 (こうの) TEL : 03-3593-1171 E-mail : kono@ecfa.or.jp

^{注)} ご提出いただいた情報は、ECFA 研修のみに使用し、これ以外の目的には使用しません。また、漏洩することのないよう厳重に管理いたします

2017年度 開発コンサルティング基礎研修（中途・異動者対象）（予定）

【研修の目標】

1. 日本における開発援助（ODA）の概念・仕組みの概要が説明できるようになる。
2. 実施機関が期待する開発コンサルタントの役割の要点を説明できるようになる。
3. 開発コンサルタントの業務内容について説明できるようになる。
4. 開発コンサルタントとして必要な知識・スキル・態度を育むよう努力できるようになる。
5. 開発コンサルタントとして現状と今後の課題について理解し、将来に向けさらにチャレンジする意欲を持つようになる。

2017年9月8日（金）

時間	テーマ	講師	内容
9:30-9:40	受付		
9:40-9:45	オリエンテーション		
9:45-11:15 (90分)	開発援助概論	(一社) 海外コンサルタンツ協会 専務理事 高梨 寿	開発援助の概論として、開発コンサルタントの歴史、コンサルタント業界が置かれている経営環境、そしてコンサルタントが従事するODA事業（技術協力、無償資金協力、有償資金協力）の概要と直面する問題点について具体的に紹介します。また、最近のコンサルタント業界の新たな挑戦と民間事業への参画、安全対策、コンプライアンス等現状と課題についてもお話します。最後に、本研修の構成・トピック、そして講師について紹介します。
11:15-11:25	休憩		
11:25-12:25 (60分)	ODAのパートナーとして	(独) 国際協力機構 調達部 契約第一課 課長 安田 智幸 氏	JICAは世界でも重要な援助機関として、グローバルな課題、地域の課題、国別の課題に対し、開発ニーズの適切な分析と把握を通じ、技術協力、有償協力及び無償協力の適切な案件形成を行い、各スキームを柔軟かつ有機的に連携した質の高い援助を目指した事業を行っています。また、最近では民間連携事業として官民パートナーシップ（PPP）プロジェクトの推進や中小企業の海外展開支援と民間投資も視野に幅広い活動を展開。本講義では、わが国援助（ODA）の動向とJICAの役割、ODAにおける課題や最近のトレンドの他、ODAのパートナーとして開発コンサルタントに期待することについてお話いただきます。
12:25-13:15 (50分)	昼休憩		
13:15-13:55 (40分)	コンサルタントの役割と業務の実際（無償資金協力）	開発コンサルタント	無償資金協力事業は、1,500億円規模の予算により、足の速い援助として、世界各地で展開されている。分野も教育・医療から道路・橋梁・上下水道等のインフラ整備まで幅広いセクターをカバーしています。最近、現地政府の負担事項、免税問題、設計変更に伴う予備的経費の活用等の課題が生じ、政府と業界の間で意見交換が続けられています。本講義では、経験豊富な開発コンサルタントの方に、無償資金協力事業におけるコンサルタントの役割と実際の業務に関し解説いただき、併せて具体的事例（プロジェクト）に基づいて現場で直面した課題とチャレンジについて経験をお話いただきます。また、開発コンサルタントとしてのキャリアパス、途上国での仕事のやりがい、自己研鑽等についてもアドバイスをいただきます。
13:55-14:00	休憩		
14:00-14:40 (40分)	コンサルタントの役割と業務の実際（有償資金協力）	開発コンサルタント	有償資金協力（円借款）事業は、これまで年間8,000億円規模で推移してきましたが、2015年には大型案件も増え2兆円の大台を超え2016年でも1兆5,000億円の規模に達し、本邦企業の受注率も2015年には40%にも達しました。しかし、他方タイド条件であるSTEP案件の要請は激減し、2016年には9%に落ち込んでいます。円借款は一般に大型案件が多く、コンサルティング企業にとって契約金額・従事期間の観点からも重要なマーケットですが、一般アンタイト化が推進されているため、最近では欧米コンサルタントやローカル企業との競合が激化しつつあり、今後一層わが国コンサルタントの国際競争力の強化が求められています。本講義では、円借款を多く手掛けた開発コンサルタントの方から、円借款事業におけるコンサルタントの役割と業務の実際の内容について解説いただき、併せて途上国での大規模プロジェクトに従事するコンサルタントの心構え、自己研鑽等についてお話いただきます。
14:40-14:45	休憩		
14:45-15:25 (40分)	コンサルタントの役割と業務の実際（技術協力）	開発コンサルタント	技術協力事業は、わが国の「質の高い援助」を実現するには不可欠なツールであり、人材養成・組織制度の改善に向け、教育・医療・環境・ガバナンス・ジェンダー、平和構築等多くのセクターでプロジェクトが実施されています。本講義では、経験豊富な開発コンサルタントの方に、ODA事業における技術協力の役割とコンサルティング業務の内容と、併せて近年注目されている非ODA分野での新たな取り組みなどについてお話いただきます。また、これから開発コンサルタントとして活躍する皆様への期待と心構えについても語っていただきます。
15:25-15:35	休憩		
15:35-16:25 (50分)	民間提案型の援助	(一社) 海外コンサルタンツ協会 主任研究員 勝田 雄介	近年、開発途上国の経済成長においてODAだけでなく民間企業による投資活動の果たす役割は益々大きくなっています。官民パートナーシップ（PPP）と呼ばれる民間の資金と運営ノウハウで途上国のインフラ整備を実現するPPP事業も芽生えつつあります。ODAを担う開発コンサルタントは、3スキームにこだわることなく、中小企業を含む日本企業の海外展開のサポート役として省庁やJICAから期待されています。本講義では、近年注目が高まっている民間提案型の援助における現状と課題について解説します。
16:25-16:35	休憩		
16:35-17:25 (50分)	環境社会配慮入門	八千代エンジニアリング(株) 国際事業本部 都市環境部 主幹 工藤 ゆり子 氏	JICAでは2010年「環境社会配慮ガイドライン」を制定し、事業が環境面や社会面に悪影響を与えないよう、調査段階において環境社会配慮調査を実施し、その業務をコンサルタントに委託しています。本講義では、環境管理や環境アセスメント等の業務に携わっている開発コンサルタントの方に、環境・社会面の調査から地元ステークホルダー（利害関係者）との協議、JICA助言委員会の審査を受け、そして最終的に報告書（EIA、住民移転計画等）をどう取り纏めているかなどについて、具体的に現状と課題について解説いただきます。
17:25-17:45	アンケート記入提出及び修了証授与	懇親会準備	
17:45-19:00	懇親会 ※業界内での交流も研修の一環としてしますので、できる限りご参加をお願いいたします。		